

# **COSMETIC UTILIZING POMEGRANATE COMPONENT**

**Publication number:** JP2001131053 (A)  
**Publication date:** 2001-05-15  
**Inventor(s):** OSHIMA JOJI +  
**Applicant(s):** RYOKUSEI MES KK; OSHIMA JOJI +  
**Classification:**  
- international: **A61K31/565; A61K36/18; A61K8/00; A61K8/96; A61K8/97; A61P17/00; A61Q19/00; A61K31/565; A61K36/18; A61K8/00; A61K8/96; A61P17/00; A61Q19/00; (IPC1-7): A61K31/565; A61K35/78; A61K7/48**  
- European:  
**Application number:** JP19990352143 19991108  
**Priority number(s):** JP19990352143 19991108

## **Abstract of JP 2001131053 (A)**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To obtain a cosmetic exhibiting a beautifying effect efficiently by absorbing a female hormone, which is an affective component contained in the fruit of pomegranate, percutaneously. **SOLUTION:** This cosmetic is obtained by blending pomegranate components obtained by a method of removing water content from pomegranate juice obtained by pressing the fruits of the pomegranate, or a method of extraction- treating the crushed fruits with an extraction solvent and removing the solvent, with a cosmetic.

-----  
Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-131053

(P2001-131053A)

(43) 公開日 平成13年5月15日 (2001.5.15)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マコード* (参考)
A 6 1 K 7/48		A 6 1 K 7/48	4 C 0 8 3
	7/00		K 4 C 0 8 6
			W 4 C 0 8 8
A 6 1 P 17/00		A 6 1 P 17/00	
// A 6 1 K 31/565		A 6 1 K 31/565	
審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 3 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号	特願平11-352143	(71) 出願人	593093548 緑星エムイーエス株式会社 埼玉県大里郡花園町大字小前田1637
(22) 出願日	平成11年11月8日 (1999.11.8)	(71) 出願人	591152344 大島 譲二 埼玉県熊谷市久保島1793
		(72) 発明者	大島 譲二 埼玉県熊谷市久保島1785-2
		Fターム(参考)	4C083 AA111 AA112 AD591 CC01 CC05 DD31 EE12 FF01 4C086 AA01 DA09 MA01 MA04 MA63 NA14 ZA89 4C088 AB12 AC04 BA08 BA10 BA11 CA03 CA06 CA11 MA63 ZA89

(54) 【発明の名称】 ザクロの成分を利用した化粧品

(57) 【要約】

【課題】ザクロの果実に含まれる有効成分である女性ホルモンを経皮的に吸収して効率的に美容効果を表す化粧品を提供する。

【解決手段】ザクロ果実を搾取して得た果汁から水分を除去する方法、または粉碎した果実を抽出溶剤を用いて抽出し、溶剤を除去する方法で得たザクロ果実の成分を化粧品に配合する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】ザクロ果実から搾取によって得られた成分を含有することを特徴とするザクロの成分を利用した化粧品。

【請求項2】ザクロ果実から抽出によって得られた成分を含有することを特徴とするザクロの成分を利用した化粧品。

【請求項3】請求項1および2に記載のザクロの成分が女性ホルモンであることを特徴とするザクロの成分を利用した化粧品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術】本発明は、ザクロに含有される成分を利用した化粧品に関する。更に言及すればザクロ果実から搾取または抽出された女性ホルモンを配合してなる化粧品に関する。

【0002】

【従来の技術】ザクロの根や樹皮にはアルカロイドのペレチェリンが含有しており駆虫薬として古くから使用されている。また、ザクロの果実にも種々の有用成分が含まれていることが明らかになっている。

【0003】特開平7-196526にはザクロの果実などに含まれるコラーゲンの分解酵素であるコラーゲンの活性を阻害するコラーゲナーゼ阻害成分を配合した、コラーゲンの不足に因る皮膚の弛みやシミの進行やリュウマチ症状の進行の遅延が期待できる化粧品や入浴剤が開示されている。

【0004】特開平9-110710にはザクロの果皮の抽出物が優れたヒアルロニターゼ活性阻害作用や抗補体活性作用を有することから、該抽出物を抗炎症剤および抗アレルギー剤として利用した種々の形態の皮膚外用薬および浴用剤が開示されている。

【0005】また、特開平11-243911にはザクロの果実の抽出液にカルシウムを混合して錠剤、粉末、顆粒の何れかに加工された健康食品が開示されている。抽出液には有効成分として、女性ホルモンの一種であるエストロンが含まれていることから、該健康食品を摂取することにより更年期障害や生理不順、貧血など、女性の様々な病気に有効であるとしている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】ザクロの果実の抽出物に有効成分として含有する女性ホルモンを錠剤、粉末、顆粒の形態に加工した健康食品として摂取することは、更年期障害や生理不順、貧血などの女性特有の様々な病気に有効であることは論を待たない。しかし、ザクロの果実に含有される女性ホルモンの量は僅かであり、必要量を摂取するには多量の果実を必要とする。また、摂取された女性ホルモンは肝臓で代謝されてグルクロン酸および硫酸抱合体として尿中に排泄されるので無駄が多い。

【0007】ザクロの果実の抽出物には、女性ホルモン以外に特開平7-196526および特開平9-110710に開示されている様に皮膚に有効な様々な成分が含まれており、それらの成分は天然物である故に安全性が高く、敏感な皮膚に適用が可能である。また、皮膚の炎症を抑える成分が含まれている。

【0008】

【課題を解決するための手段】この様な事情に鑑み、発明者らはザクロ果実の果汁成分または果実の抽出成分を配合して化粧品とし、該果汁成分または該抽出成分に含有する女性ホルモンを皮膚に適用することによって皮膚の健康や若返りを促し、また、経皮的に吸収することによって、美容効果や薬効を効率的に得る方法に到達した。

【0009】ザクロ属ザクロ科の植物であるザクロには50以上の品種があり、6～7月に開花して9～10月に果実をつける。果実は生食されるが非常に種が多く、食用に適しているとは言えない。しかし、ザクロの根や樹皮はアルカロイドのペレチェリンを含有し、その0.10%溶液を駆虫薬に、また、果皮は下痢止めとして利用されており、その他、グラナートアルカロイドやタンニンの含有が知られており、生薬としての利用価値の高い植物である。

【0010】エストロゲンは卵胞ホルモンといわれ、卵巣から卵胞刺激ホルモン(FSH)の刺激によって分泌される女性ホルモンで、エストラジオール、エストリオールおよびエストロンの三種がある。エストロゲンは雌性副性器の発育、子宮内膜の増殖、乳腺の発育、FSHの分泌抑制などの生理作用がある。

【0011】本発明は、ザクロ果実の果汁から水分を除去して得た果汁成分、または果皮、果肉および種子から抽出して得た抽出成分を化粧品に配合し、該果汁成分または抽出成分に有効成分として含有される女性ホルモンの一種であるエストロンを化粧品として皮膚に適用し、皮膚の健康や若返りを促し、また、経皮的に吸収して肌の美容や健康を増進させようとするものである。

【0012】本発明で言う化粧品とは、薬事法で分類される医薬品、医薬部外品、化粧品、医療用具の4分類中の単に化粧品だけを指すものでなく、医薬品および医薬部外品をも含む製品を言う。

【0013】近年、皮膚を投与経路とする経皮治療薬の開発が盛んであり、狭心症に対するニトログリセリン製剤は広く使用されている。海外では、血圧降下剤のクロニジンや癌性疼痛緩和のためのフェンタニルの経皮吸収製剤ともに女性ホルモンの一種であるエストラジオールの経皮吸収製剤が開発され、臨床実験中または発売されている。

【0014】

【実施例】以下、実施例により本発明を詳細に説明するが、本発明はこれらの実施例になんら制限されるもので

ない。

【0015】

【実施例1】ザクロ果実に含まれる女性ホルモンの採取方法は、果実の果汁を乾燥して得る果汁成分法と、果実を粉砕して水分を除去した粉末から抽出溶剤を用いて抽出する抽出成分法の二方法で得た。

【0016】成熟したザクロの果実を採取し、果肉、種子および果皮を含めた全体を粉砕後、汙し布で果汁を搾り取り、甘い匂いの茶褐色の果汁液を得た。得られた該果汁液を凍結乾燥して水分を除去して約5重量%の粉末状のザクロ果実成分Aを得た。

【0017】又、採取したザクロの果実を粉砕後、凍結乾燥して水分を除去し、粉末状のザクロ果実を得た。この粉末状のザクロ果実を更に微粉化し、エタノールを抽出溶媒としてソックスレー抽出器を用いて成分の抽出を

した。該抽出液からエタノールを除去して約3重量%の粉末状のザクロ果実成分Bを得た。

【0018】得られたザクロ果実成分AおよびBには女性ホルモンであるエストロンが含まれていることがガスクロマトグラフによる分析で確認された。

【0019】

【実施例2】実施例1で得られたザクロ果実成分AおよびBを化粧品全量に対して0.1～1.0重量%添加して通常の処方および製造方法によって、乳液、クリームおよびパックを作製した。

【0020】

【発明の効果】本発明のザクロ果実の成分を利用した化粧品は、該成分に含まれる女性ホルモンの効果によって皮膚の健康や若返りを促進すると共に経皮的にも吸収されるので美容および薬効効果が高い。

フロントページの続き

(51)Int. Cl.<sup>7</sup>

A61K 35/78

識別記号

F I

A61K 35/78

テームド(参考)

C